

かほく議会だより

第121号

2023年10月13日



●シリーズ● 町民インタビュー

子どもたちの登校を見守り続けていた
だっている、交通安全指導員の皆さんに
インタビューをしました。(記事は2～3P)

あいさつがうれしい

CO₂を36%削減 新庁舎

谷地高等学校をオールかほくで支援

11人が一般質問

2P

5P

14P

わたしの一言

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きました。

河北町の歴史を繋ぐ

岩根上 木嶋 孝太さん

私は河北青年
会 議 所 の メ ン
バ ー として今年
初めて一夜限り
のかほくうまい
もの横丁に参加
させていただきました。

当日の参加の
みで大きな力に

はなれませんでした、参加されている町民
の方々の楽しそうな笑顔を見て段取りや準
備など運営側の努力が見え感動しました。

同時にコロナも落ち着きを見せ各地のイ
ベントも再開する中で人手不足や引継ぎ等
に十分な時間を使えない現状、いずれこの
ような大きなイベントにも同じ様な問題が訪
れ持続していく事が困難になるのではない
かと少し不安も感じました。運営側が参加者
の笑顔を増やす企画に集中できるよう議会
の方々には運営の負担を少しでも減らせる
対策を検討していただき、持続可能な仕組
みが整えばと思います。

私は河北青年会議所の一員として町のため
に努力し、そして、町民の方々の中からも
一緒に町を盛り上げてくれる若い人達が増
えてくれる事を期待します。



みなさんを笑顔にしたい

荒町中 渡邊 紀子さん

お店の前を通る小中学生や、車で信号待
ちの人たちがお店のショーウィンドーを見
て笑っているのを見たり、お客様に『写真
を撮ってもいいですか?』と聞かれたりする
事が、今、とても楽しくてうれしいです。

実家の花屋を継ぐ為に東京の専門学校で
フラワーデザインの勉強をして、河北町に
戻って来てから、ふと、東京の銀座のショ
ーウィンドーに心を奪われた記憶が蘇り、自
分のお店でも人を笑顔にすることができた
らなと思うようになりました。

赤い画用紙で作った巨大カーネーショ
ン、新聞紙を丸めて作ったトムモロコシ、セ
クシーな赤い唇のクッション。月日と共に
増えていくショーウィンドーを飾った作品
達。これからはショーウィンドー越しの作
品で、自分も楽しみながら皆さんを笑顔に

していけたらな
と思います。

ちなみに今、
「千と千尋の神隠
し」の『カオナシ』
を飾っています。
見に来て下さい。



編集後記

この時期に上程され
る議案は重要、かつ多
岐に渡る事項が多く、
是々非々で闊達な議論
が展開、また一般質問
も11人が登壇し、町民
の想いを発信しており
ます。

さてタイトルである
「かほく議会だより」で
すがもつと身近に感じ
ていただけるように名
称変更を検討しており
皆様からのご意見をい
ただければ幸いです。

冊子を通し皆様へ正
確な議会情報を提供し
て参りますので、何か
ございましたら、お気
軽にお問合せ願います。
(おくやま)

広報広聴常任委員会

委 員 長	木村 章一
副委員長	奥山 英幸
委 員	佐藤 修二
委 員	吉田 芳美
委 員	鈴木 英友
委 員	安達 智男

あいさつがうれしい

子どもたちの登校時の安全のために、交通安全指導員としてご奮闘いただいている皆さんの中から、4人の方に経験談や、日頃感じていることなどについてインタビューしました。

**指導員になりたい
きさつ、やりがいを感じる
時などお聞かせ
ください。**

**振り返れば38年
いろいろありました**

武田さん

もう38年くらいやっています。中部学区を主に活動しています。父親がやっていて、10年くらいやった時に体を壊し、当時の町の係長から後継者が決まるまで1週間だけ代務をやってくれと頼まれて今に至ります。

38年もやっていると、親子3代に渡って世話

横町 武田健一さん



になったなんて言われると感慨深いです。小学校の感謝の集いに出席した時、作文や話を聞くとうれしい。

**声をかけてくれるのが
うれしい**

渡邊さん

13年間、溝延地区を担当しています。

役場の防災係にいたので、退職してから当時の区長のあとを継いで、最初2年くらいのつもりが今に至ります。子どもたちが朝の指導時はもちろん、日常生活の中でも声をかけてくれるのがうれしい。

挨拶返しはタッチ

菅井さん

令和元年からやって

8区 渡邊清志さん



います。松橋交差点で交通量も多いです。

前任者が都合でできなくなり、役場から頼まれたのが始まりです。小学生には「おはようございます」、中学生には「おはよう」と使い分けをしています。

小学生はタッチしてくるし、挨拶を返してくれるのがうれしい。

指導員がいない

田宮さん

西部地区で、指導員になって6、7年になります。

ちょっと話したいことがあるからと、武田さんと役場の課長が来て、西部地区は長い間一人しかいなくて、いろいろ当たってみたが

旭町 菅井正敏さん



誰もいないと。

自分も父兄の一人。子どもも少ないし、みんな顔見知りなので気軽に声をかけてくれる。

**ハツとしたことや、
大変だなと感じること
はありますか。**

**ルールマナーを
守ってほしい**

武田さん

信号機のない横断歩道で、横断待ちをしている子供たちがいるにもかかわらず、止まらなかつたり、止まった車を追い越して行く車にはハツとする。

交通ルール・運転マナーを守るのはドライバーの義務であることを自覚してほしい。

弥勒寺 田宮友和さん



子供を守るのが一番

渡邊さん

最近は車も止まってくれるようにはなっていますが、無理に追い越してくるのもある。

子どもを守るのが一番だが、指導員が事故に遭うケースもある。とにかく注意が必要。

**信号無視の車が多い
冬は雪片付けが大変**

菅井さん

信号を無視、黄色で突っ込んで来る車が相変わらず多い。信号は赤、歩行者用が青で子供たちが踏み出す直前だったのでハツとした。横断歩道上で止まることもある。

立哨するときは、子

どもたちを守らなければという気持ちになる。大変と言えば冬の交差点。子どもたちの通る場所を確保するため、ブルが通った後片付けをしないといけない。

大変な時もあるが

ルーティンに

田宮さん

子どもたちはほとんど資料館の方から歩いてくる。普段は白線内を歩いてくるが、冬場は雪が多く車道を歩かざるを得ない。非常に危険。

自分の知り合いにも指導員になってとはなかなか言えない。最初はすごく嫌だと思う。

制服を着なければ、人通りの多いところに立たなければいけないが、1、2か月すると慣れる。半年すると立つのがルーティンになる。

**指導員として、町民
として、議会や町に望
むことはありますか。**

人員の確保や

時間帯について検討を

武田さん

基本、月々金まで1か所に2人の体制。

1、2、4月は毎日全員出動。1、2月は雪対策、4月は新年度新入生対策です。

立哨は11か所の22名となるが、現在の指導員は21名です。高齢化や健康上の都合でやめたいとの申し入れが数件あり苦慮しています。

町報やHPに募集の



お知らせを載せてはいるが、応募や問い合わせは全く無い。

1時間というのは規則で決まっているが、時間帯や時間については見直しをしてもらいたい。

指導員は多い方がいい

渡邊さん

今はギリギリの人数でやっている。人数も決まっているのであれば考えてほしい。

時間帯これでもいいのか

菅井さん

立哨時間は7時20分～8時20分までだが、最後の10分くらいは児童・生徒はほとんど通らない。

**家庭や地域の事情も
学区の選択を柔軟に**

田宮さん

地域に同級生がいない、友達がいらないなど、それぞれの家庭や地域

の事情もある中、学区の選択を柔軟にしてほしい。



**町づくりについて
意見をお願いします。**

**地域の活性化のために
思うこと**

武田さん

道の駅のあり方はしっかり考えてほしい。小学校統合についてはこれから学校に入る子を持つ親の意見を聞いてほしい。

地域を活性化させるのは祭り。子どもから大人まで協働で作業することが地域の絆を強くする。祭りとか習慣

子どもたちに夢を

菅井さん

以前、河北町が県内で一番住みよい町と言われたこともあった。いもこ列車は中央公園を1周させたい。

秘伝豆を

ブランド化して

田宮さん

枝豆を生産しているが、秘伝豆は作付け面積も多く、町として産地形成してきた経緯もあるのに未だにブランド化できてないのもったいない。

9月議会
4日～14日

9月定例会が開催され18件の議案が提案されました。東海林信弘議員を決算審査特別委員会委員長に選出し、令和4年度の決算が審査されました。そのおもな質疑と討論を4～7Pに紹介しています。補正予算や条例案などについての質疑は8～9Pで紹介しています。議案のおもな内容と、議員の賛否は23Pで紹介しています。

道の駅のワイナリー 見直し遅く再開遅れ

問 道の駅河北は、ワイナリーづくりに多数の町民が反対で、結果としてワイナリーをやめることになり、再オープンの際は令和



首都圏で移住説明会 河北町のブースもあります

6年4月で時期がずいぶん遅れている。町長のリーダーシップに、問題があったのではないか。

町長 道の駅にワイナ

リーづくりは、検討委員会からのアイデアだった。私にも、町民からワイナリー見直しの意見が届いた。反省すべきことはあった。

関係人口どう増やす

問 まちづくりで関係人口（観光人口と定住人口の間で、町にかかわりが深い人口）をどのように増やすのか。

まちづくり推進課主幹

ふるさと納税をしていただいた方々は関係人口に数えている。返礼品のほかにパンフレットなども送って、町の素晴らしさを伝え、東京などでは誘致活動に取り組んでいる。



新しくなったアリーナで子どもたちが躍動

町民体育館の大改修は 令和8年度の財政計画

問 町民体育館のアリーナ床張り替えは好評だが、まだ使えたのではないか、との声もある。どのような財源を使ったのか。

また、体育館の天井から、3月頃になると水滴が落ちてきて、拭き取りながら使っているが認識しているか。

生涯学習課長 アリーナ床の張り替えは総額

約5000万円で、スポーツ振興くじから333万円の補助と、借入金1600万円が財源だ。

アリーナ天井から水滴が落ちることは認識し、注意喚起しながらご利用いただいている。対策は、令和8年度の大改修を財政計画に組み、令和5年度はアスベストの含有調査を予算化している。

防災士会を再開し 危機対応の相談する

問 防災士は防災意識が高いのに、災害発生時に、出番がはっきりしない。

水害と地震災害に分けて、果たしていただける役割を明確にしておくべきではないか。

防災危機管理課長 以前にはあった防災士会を、再度立ち上げていただいて、相談していきたい。

新庁舎の環境性能は CO2を36%削減

問 令和4年度は、初めて1年間通して新庁舎を運用したが、環境性能はどうか。

総務課長 比較できる

CO2換算で、どの程度消費エネルギーを節約できたか。



新庁舎前で開催された令和5年の一夜限りのかほくまいもの横丁

曜日を变えて 2つの団体利用も

問 高齢者の居場所づくりの事業は、広く門戸が開かれるべきだ。公共的施設の活用範囲はどこまでなのか。桜の枝の伐採などでも、任せているのか。

一つの公共的施設に、曜日を変えて2つ以上の団体が活動することもあるのではないか。

健康福祉課長

枝の切り落としや花壇づくりの土木工事などは、事後報告を受けたが、事前に相談することを求めた。

1つの施設で、2つの団体が曜日を変えて活動することは、否定しない。

小・中学校の暖房の CO2削減の検討を

問 小・中学校の全教室にエアコンが設置された。暖房はどの程度のCO2排出になるか。暖房にもエアコンを



満延小2年生の図工の授業 右上にエアコン

房によるCO2は141トン、中学校の重油では136トンだ。

当面は、灯油や重油の暖房を考えている。

町長 中学校の重油による暖房を、バイオマスによる暖房に切替えることは考えられる。

交差点の見直し除雪 オペレータ配置し対応

問 令和4年度の除雪出動は11回で、令和3年度22回の半分だった。その中で、交差点の見直し確保や、県道や国道沿い宅の間口除雪はどうだったか。

都市整備課長

交差点の見直し確保は、1名のオペレータを配置し、パトロールと連携して対応した。

町道以外の間口除雪は、道路の管理者ではないので難しいが、まちづくり交付金事業などで、地域の方から一部対応していただいた。

高過ぎる国保税の一方で 基金がムダの可能性

問 国民健康保険は、
税収の1・36倍もの
基金が貯められている。
国保税率を県内一本
化にされると、河北町
の国保加入者の基金が
ムダになる可能性があ
り、高過ぎる国保税を
引下げ、加入者に返す
べきだ。

税務町民課長 令和12
年からといわれていた
税率一本化の検討が、
令和6年からは、前倒
しの可能性がある。
担当として国保税が、
国保加入者にとって大
きな負担という認識は
ある。



町の備蓄食料の点検

町営バスの 車種の選択は慎重に

問 令和4年度に計画
された町営バスは、天
井が低く、後ろの人は
前の人にも降りてもら
わないといけない車種
だ。

用途に合わせて慎重
に選択すべきだった。

まちづくり推進課長

令和5年度に購入し
たクルマで、今後は電
気自動車を考えている。

食糧の備蓄と 賞味期限の対策は

問 災害対応の食糧備
蓄と賞味期限切れの対
応はどうしているか。

防災危機管理課長 食

糧備蓄は2800人が
3食で3日間の半分が
必要で、備蓄は979
3食で78%だ。

賞味期限が来るもの
は、訓練参加者に配布
し、ミルクなどは受け
入れてくれるNPO法
人に送っている。

水源地の機能停止 決算資料に書くべき

問 治部橋水源地在落
雷で、昨年8月から最
近まで機能停止だった
ことについて、決算関
係の書類に書くべきで
はないか。

なことであった。
令和5年9月に復旧
できたが、その記載に
ついて今後検討したい。

**ほくほく応援券の
換金率の差はなぜか**

問 ほくほく応援券が、
新型コロナ対策と物価

上下水道課長 水源
地が半年以上も機能停
止になったことは、大



町道の補修作業

町道の亀裂や陥没 情報を確認し対応する

問 町道の亀裂や陥没
について、速やかな対
応は取り組みられたか。

都市整備課長 なるべ
く早く実施している。

令和4年度は、4月
14日から開始した。
情報の提供があれば、
現地を確認して、対応
している。

ふるさと納税は重要 寄附減額の分析を

問 ふるさと納税の寄
付額は13億9324万
円で前年度から900
0万円減だが、どのよ
うに分析しているか。

商工観光課長

令和3
年度は71000件、
4年度は61000件
の寄附件数だった。
返礼品の米の高騰で、



新庁舎駐車場で令和5年の屋台競演

5月から7月まで価格
を決められずに悩んだ。
また、人気のハンバー
グが火災の影響で10月
以降に出荷できないな
どの影響があった。

町長 返礼品は農産品
が多く、常にリスクを
負いながらの運営とな
っている。

ふるさと納税の寄付
は、町の大きな財源と
なり、地域産業の活性
化、河北町に関心を持
つ関係人口が増えるこ
ともなり、しっかり
取り組みたい。

**新庁舎の最終建設費は
39億4120万円で完了**

問 令和4年度で新庁
舎建設は完了した。

新庁舎の建設費総合
計は、いくらになった
のか。

総務課長 平成29年度
に着手してから令和4
年度までかけて建設し、
39億4120万円とな
った。

反対

木村章一

コロナ対策など感謝

大変だったワクチン
接種や町民生活への支
援など奮闘感謝する。

子育て支援で人口増へ

小中学生の給食費は
半額に引下げられ、令
和5年度からの全額無
料化につながった。

徹底した子育て支援
は、人口を減少から増
加に変える重要なポイ
ントだ。

討論

令和4年度の一般会計決算

賛成

吉田芳美

若者が選ぶまちづくり

関係人口創出や移住
定住PR活動等により、
移住相談も前年の倍で、
東京、埼玉、神奈川、
千葉などの首都圏から
7世帯の転入があった。
**旧町民プール跡地に
促進住宅計画**

地元回帰を促す住宅
環境整備の基本調査に
取り組んだ。
多額の公費投入には
町民理解が得られない。

横川に排水機場を早く

最上川の治水対策は
流域全体のプロジェクト
が動き出したが、横
川の排水機場の早期設
置は進んでいない。

高過ぎる国保税下げよ

組合健保の2倍にも
なる高過ぎる国保税は、
1年間の国保税の1・
36倍もの貯まった基
金を取り崩し、一般会
計から法定外繰入もし
て、引下げるべきで
あった。

リーダーシップに問題

道の駅河北は、ワイ
ナリー設置に、町民の
大多数が反対した。

結果として道の駅の
ワイナリー見直しに時
間がかかり、町長の
リーダーシップに問題
があったと指摘する。
会計年度任用職員な
どの人件費と労働条件
はまだまだ低く、抜本
的な見直しが必要だ。
以上決算に反対する。

道の駅河北について

受託業者との協議が
整わなかったことから、
新たなリニューアル方
針を策定し利活用の検
討。

好評な500円タクシー

高齢者の足として、
大変好評である。通年
事業として実施されて
いる。

ふるさと納税寄付金

13億9324万円は
町の主要な財源として
活用されている。
以上決算に賛成する。

8月7日の臨時議会と、9月定例会に提案された補正予算や条例改正案などについての質疑を紹介します。

最上川の カヌー練習場整備へ

問 カヌー練習場の最上川グリーンパークの整備は、いつ頃までに完了し、使用の目途はいつ頃を予定しているのか。

用できるよう、進めていきたい。

**電子決済も可能な
応援券10月下旬から**

問 電子決済も可能な応援券の配布について一人当たり幾らの商品券か、また使用できる店舗などはどこか、いつ頃どのような手順で



整備が進んでいるカヌー練習場

配布予定か。

商工観光課長 電子商品券、または紙の商品券どちらかを1人5000円分配布。

町内事業者で使用する可能とするが、3000円までは大型店舗でも使用可能。

電子商品券は10月下旬から1月31日、紙の商品券は11月中旬から1月31日まで使用可能を予定。

一部の世帯へ

特別給付金配布

問 住民税非課税世帯や家計急変世帯への特別給付金は、いつ頃何世帯へ、どのような手順で配布するのか。

健康福祉課長 一世帯当たり3万円の給付を予定している。住民税非課税の1480世帯と家計急変の20世帯へ9月より確認書を発送し、早ければ9月下旬には支給予定である。

谷地高等学校を 支援する会発足へ



これまでにない支援を可決

問 谷地高等学校の存続に向け、支援する会を発足させるとのことだが、どのような位置付けで発足するのか。また関係先との連携はどの様に行っていくのか。

町長 支援する会の設立に向け、メンバーを町長、教育長、谷地高校長、谷地高後援会長ほか関係者に入っている。ただ、準備委員会を設立。

具体的な位置付けや方向性を協議決定していきたい。

事務局を教育委員会に置き、谷地高の支援に賛同する方を募る。

会を組織し、産学官とプロジェクトを共有しながら、後援会ともしっかり連携し、谷地高を支援していきたい。

**美味しい弁当屋食を
300円で提供**

問 谷地高支援の一つとして、昼食を提供する楽弁支援事業は、どのような内容か。

学校教育課長 谷地高の生徒を対象に希望者は週1回700円の弁当の400円を町で助成、300円で弁当を提供する事業。

楽弁の楽は楽しい昼食、また保護者の負担を楽にする、受託する湯楽亭になぞり命名した。

**町として谷地高の
魅力を発信していく**

問 中学生の目線で考えた場合に谷地高を志望しない理由はどう捉えているか。

教育長 河北中学校はじめ、近隣中学校へ谷地高の様々な魅力をこれまで以上にPRしなければならぬ。

行政として、あらゆる面を考慮し対応していく。

プール跡地活用は 計画見直しへ

問 旧町民プール跡地の活用で、定住促進住宅の分譲地として整備する内容は。

まちづくり推進課長 昨年度から基本調査を行い、当初は分譲住宅と賃貸住宅の2種を

計画、無散水消雪道路の整備も視野に入っていた。

しかし、調査の結果費用の面から分譲住宅地のみとし、無散水消雪道路も取りやめることにした。



旧町民プール跡地は宅地分譲へ

道の駅河北で 様々な町のPR活動を

問 道の駅河北の職員採用について何名採用する予定か、どのような業務に従事するのか。

商工観光課長 2名の採用を検討している。

地域おこし協力隊として道の駅に関する観光案内、特産品の販売促進、運営に関わる企画、農産物収穫に関する



美しい風景を一望できる道の駅河北の3階食堂

るイベントの開催など。ほか道の駅に関する企画実施等を大きな役割として計画している。

サン・コーポラス河北 を大改修へ

問 地元回帰としての定住促進住宅の改修内容は。

都市整備課長 サン・



大改修で定住促進を図るサン・コーポラス河北

コーポラス河北の空き部屋を、若者向きの間取りを考慮した大改修を行う予定で、1月に3Dによる間取りデータを公開したい。

子育て支援を 充実させていく

問 子育てモバイルシステム事業の内容は。

健康福祉課長 子育て支援アプリを導入。

電子版の母子手帳、予防接種の予定やスケジュール管理。

町内での子育てに関するイベントの配信、ワクチンの種類からの医療機関の検索、子育ての記録補助などが対応可能なものを予定している。

ほかにも要望などがあれば、機能を追加できる。

議会報告会から
議員派遣の意見交換会へ
会津坂下町

議会運営委員会



議会報告会の
新しい形を模索

令和5年8月、福島
県会津坂下町の町民・
議会懇談会「ばんげ未
来トーク」について視
察しました。

会津坂下町の

「ばんげ未来トーク」

会津坂下町の「ばん
げ未来トーク」は、町
民のもとへ議員を派遣
し意見交換会を実施し
ます。

実施希望日の3週間
前までにテーマを決め
て申請していただき、
町内在住、在勤、在学
の5名以上のグループ
が町内で行う集会へ議
員を派遣します。

課題や意見を報告書
としてまとめ、町への
政策提言として年度末
に提出します。

実施日は、土日、祝
日、夜間も可能となり
ます。

議員の派遣方法は

申込者が希望する
テーマや参加者数に
よって、派遣する議員
と派遣人数を決めるた
め、調整は議会懇談会
実行委員会が行い、議
員の派遣など最終判断
は議長が行っていまし
た。

まとめ

町民の声の大切さ

町民の方々の都合の
良い日程で実施するた
め、多くの町民の方々
の意見を広聴できる機
会となり、有効な方法
だと感じました。

政策提言をし、どの
ように町政に反映させ
ていけるのが課題で
あり、政策提言してい
く仕組みを検討、運用
しながら議会改革へ取
り組んでいきます。

主導的かつ機動的な
通年議会を研究へ
只見町

議会運営委員会



通年議会とは

令和5年8月、福島
県只見町の「通年議
会」について視察しま
した。

通年議会は定例会を年
1回とし、議会招集の
手続きや時間が省かれ
ます。

議会活動が主導的、
機動的にできる仕組み
で、議会機能である監
視の役割を果たそうと
するものです。

町長の要請や議会活
動を必要とする時など、
いつでも議会主導で会
議を開くことができます。

まとめ

通年議会を考える

議会は町の意志決定
機関として役割と責任
が重くなってきたこと
は事実として感じて

います。
通年議会導入に向け
ては、さらなる研究を
重ね、議会機能の充実
強化を早急の課題とし
て捉える必要があります。
自然災害などの非常
時における議会の開催
など、円滑かつ速やか
な対応が要請されるこ
となどからも、通年議
会の必要性を感じまし
た。

きめ細やかな

議会改革を

議会改革の推進につ
いては、議会基本条例
の検討作業も全議員で
進めていかなければな
りません。

また高い使命感を
持つて職務に取り組み、
町民と共に汗を流す住
民協働の議会運営、議
会改革を目指すことも
大切になってきます。

防災専門の施設
東根市西部防災センター視察

総務産業常任委員会

新たな防災拠点に学ぶ
東根市が令和2年7
月豪雨災害を教訓にし
て、建設を急いだ防災
センターが、昨年7月
に完成。

- ①避難所機能の強化
- ②防災備蓄機能の強化
- ③支援活動の強化
- ④地域防災力の強化



収容者数は500人、
車による避難が相次い
だ経験を踏まえ駐車場
は155台を確保する。
避難者フロア床材は
弾力性がありそのまま
座り込める素材を使用。
冷暖房完備、感染症
対策、バリアフリー、
照明の工夫、72時間分
の電源備蓄、貯留式の

マンホールトイレも整
備されています。
大規模災害に備えた
素晴らしい施設でした。

まとめ

異常気象により

広範囲な災害が想定される

河北町の場合、既存
の避難施設はスペース
として十分かも知れま
せんが、避難者の心労
や、厳しい環境に置か
れることなどを考慮す
ると、現状のままでは
不十分です。

災害と隣り合わせの時代

協力連携が運営の要

防災意識を町民に
持つていただくのと同
時に避難所があること
で安心感が生まれます。
避難所開設の場合を
考えると、備品の十分
な備蓄と食料ストック
については、計画的な
数量を確保すべきです。

地域の高校存続に
向けた自治体の
支援を調査

厚生文教常任委員会

遊佐高校への

就学支援事業を学ぶ

令和5年9月、山形
県遊佐町の遊佐高校就
学支援事業について視
察しました。

遊佐町では、平成26
年度から「遊佐高校支
援の会」を事業主体と
し町からの補助金交付
を受けて支援事業に取
り組んでいます。

支援事業の内容は

- ①入学する生徒に制服
や運動着などの購入費
7万円。
- ②通学支援として、公
共交通機関がない住ま



- いから通学する生徒に
対して、貸し切り乗り
合いタクシーの運行。
- ③JR通学定期券の購
入費用の半額助成。
- ④キャリア支援として、
遊佐町社会福祉協議会
が実施する、介護職員
初任者研修の受講料の
一部2万5000円。
- ⑤3年生を対象に普通
自動車免許取得費用6
万円。

高校魅力化のため

地域連携を密に

遊佐高校が、町内外

や県外の中学生から
「選ばれる学校」「遊
佐に来て良かった」と
思われる地域・学校に
なるため、関係者相互
がしっかりと連携でき
るよう、地域連携協議
会を設置しています。

地域みらい留学

への参画

魅力化の事業として、
地域みらい留学へ参画。
県外志願者に遊佐高
校・遊佐町をPRし、
留学体験プログラムな
どを、オンラインや対
面で説明会を開催して
います。

まとめ

地元高校へは就学支
援だけでなく、効果的
な支援が必要です。
支援する会などの位
置付けを明確にするこ
とが大事です。
関係機関と地域連携
が重要と感じました。

11 議員が一般質問

一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。



町政に問題提起や政策提言

14・15P

林 智 議員

- ①かほくほくほく応援券事業の電子版発行による将来展望について
- ②消防団員確保に向けた取り組みについて

木村 章一 議員

- ①少子化対策を充実させ、幼児教育と保育の副食費、完全無償化について
- ②谷地西部小学校を他の学区からも通学できる、小規模特認校の検討について
- ③町の公共施設を避暑スペースとして町民に提供することについて

奥山 英幸 議員

- ①県立谷地高等学校への町としての支援体制について
- ②町としてのDXへの取り組みについて

16・17P

安孫子真弥 議員

- ①谷地どんがまつりの存続について
- ②イベント支援事業の拡充について

増川 憲一 議員

- ①主要地方道寒河江村山線の河北橋改良について

細矢 誓子 議員

- ①本町における関係人口創出・拡大の取り組みについて

18・19P

佐藤 修二 議員

- ①べに花温泉ひなの湯への誘客について
- ②結婚新生活支援事業の拡充について
- ③放課後等ディサービスについて

石垣 光洋 議員

- ①人口減から人口増の町づくりについて
- ②マイナンバーカードと健康保険証について
- ③公共施設の管理運用について

安達 智勇 議員

- ①知的障がいの診断が出ていない、境界知能児童生徒への対応について
- ②教育格差解消のための、地域未来塾の実施について

20・21P

鈴木 英友 議員

- ①伝統文化及び文化財の継承について
- ②旧安部権内家の現状と今後について
- ③道の駅河北の運営について

吉田 芳美 議員

- ①ごみステーションを管理する衛生指導員の働き方改革について
- ②旧町民プール跡地を活用した住宅整備に関する方針について
- ③定住促進住宅の居場所づくりと、リノベーション計画について

上部のQRコードを読み込んで、議会ホームページの録画中継をご覧ください。



「カフェ・ド・ギカイ」という企画で、住民の声を取り上げて、栃木県高根沢町議会を視察しました。

農業団体の役員や、子育て中のママなどと、議員が懇談し、内容を議会だよりで紹介する取り組みです。

広報広聴常任委員会

町民の声を議会だより

参加要請の届けは信頼している人から

子育て世代のママたちは忙しく恥ずかしがり屋が多くて、河北ではインタビューに失敗した事例について質問しました。

ママたちに、児童館の職員さんから声をかけてもらい、懇談会に参加してもらえたとのことでした。

信頼関係のある人からの声かけが、ポイントでした。

町内会を大事にしよう

高根沢町では、町内会への参加率が30%、議会だよりや町広報などは新聞折り込みで、世帯の約8割に届け、ほかはネットで伝えているとのことでした。

河北町の町内会は9



割を超える組織率で、議会だよりなどを確実に届けられています。

改めて町内会は大事だと思いました。

ユニバーサルデザインの文字を採用

全国の議長会主催の研修を受け、文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用します。

色は最小限にし、余分な装飾をせず、見るゾーンと読むゾーンを意識し、ページデザインに配慮した紙面づくりに挑戦します。

令和4年度決算を認定 山形県後期高齢者医療広域連合議会

8月8日 定例会
①令和4年度山形県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入は、予算現額7億2519万円に対し、調定額、収入済額とも、7億2514万円、不納欠損額、収入未済額はありませんでした。

歳出は、予算現額7億2519万円に対し、支出済額は、6億3315万円、不用額は、9204万円となりました。

②令和4年度山形県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入は、予算現額1

578億7230万円に対し、調定額は1577億7784万円、収入済額は、1577億7553万円、収入未済額は、231万円、不納欠損額はありませんでした。

歳出は、予算現額1578億7230万円に対し、支出済額は、1551億614万円、不用額は、27億6616万円となりました。

③広域連合監査委員の選任について

広域連合議員である中野信吾氏を監査委員に選任するもの。

令和4年度決算を認定 河北町ほか2市広域斎場事務組合議会

8月29日 定例会
①議案審議に先立ち議長選挙があり、本町の丹野貞子議員が議長に当選されました。

②令和4年度河北町ほか2市広域斎場事務組合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入は、予算現額7316万円に対し調定額、収入済額とも7395万円、予算現額との比較では78万円の増となりました。

歳入は、予算現額7316万円に対し支出済額は、6689万円、627万円の不用額となりました。

歳入歳出差引残額706万円は翌年度へ繰越すもの。

③本組合議会議員の中から選任されていた監査委員が欠員となっていたことから、東根市議会議員の高橋光男氏を本組合監査委員に選任するもの。

以上、提案されました3議案は、いずれも原案のとおり認定、可決及び同意されました。

電子版応援券は
総合的戦略が必要

デジタル社会形成に向け
取り組む



林 智 議員

デジタル化活用の
展望は

問 今回の応援券事業は物価高騰対策・地域経済の活性化を目的とし、そこに電子版応援券事業を付加されたものである。キャッシュレス決済の普及及び経済振興はどの様に考えるか。

誰もが利用できる様に
問 多くの方が手軽に利用できるＩＣカードの採用は。

町長 端末整備の費用が多額になるため困難である。

ポイント連携による
利用推進を

問 継続的利用を推進するため様々なポイント事業などとの連携による活用は。

町長 システムの拡張が可能なための様な事業と連携できるか検討していく。

行政サービスの質の向上につながるものと認識している。
連携対象とする行政

サービスの見極め、デジタル社会の形成に向け取り組んでいく。

消防団員確保に
町独自の取り組みを

問 消防団員の確保に向け町独自の取り組みをしてはどうか。

町長 処遇改善や広報活動などにより啓発に努めているが、団員自

身の声掛けがもつとも効果的と考えている。

問 未来の消防団、地域防災リーダーを育成するためにも小中学校に防災クラブを設立できないか。

教育長 現在も災害について学習をし、災害が起きた時自力で対応する力を小さい時から養うようにしたい。



かほくほくほく応援券サンプル

保育所などの
副食費無償化を

重要課題であり
急いで検討する



木村 章一 議員

問 子育て支援のために、保育や幼児教育の副食費を、完全に無償化すべきではないか。

町長 近隣の14自治体では、すべての子どもに完全無償化が7つ、河北町のように年齢の数え方を広げた第3子以降の無償化が6つだ。副食費の無償化は重要課題であり、具体的検討を急いで進める。

学校統合は重大課題
途中経過を町民に報告

問 検討委員会で小学校のあり方を検討中だ。本来、通学区は住所により決められるが、谷地西部小を他の学区からも通学できる、小規模特認校にする選択肢も加えてはどうか。

現在の6つの小学校を、例えば2つや1つに統合するなどの案が検討されるなら、全町民に良く説明してから議論を進めるべきだ。

町長 検討委員会では、小規模特認校の選択肢についても説明しながら進めている。

教育長 学校統合は重大な課題であり、途中経過を町民に報告しながら検討を進める。

エアコン設置支援は
優先順を考え検討へ

問 暑い夏が、毎年過酷さを増している。公共施設などを避難



この子たちに素敵な教育環境を作ろう

所として提供し、また、全ての町民がエアコンを使えるように支援してはどうか。

町長 暑さの避難所として7つの公共施設を8月25日から提供した。エアコンの設置支援

は、避難所になる公共施設のエアコン整備、学校体育館などのエアコン設置、エアコンが無い公営住宅の支援など、優先順位を考えながら検討を進める。

谷地高等学校への
支援の内容は

オールかほくで
支援をしていく



奥山 英幸 議員

学校への手厚い支援を

問 先般開催された、全国高等学校総合体育大会カヌー競技での活躍や、YouTube

甲子園での銀賞獲得、ほか様々な場面で活躍している。

谷地高等学校が1学年定数80名を維持するために、どの様な支援を計画しているのか。

町長 就学支援として各種金銭補助や通学費用負担軽減として、山交バスの定期券支援。週1回、弁当を格安で提供する支援など、

経済的支援と、高校自体の魅力を発信するためコーディネーターを配置。

SNSを介し、学校の魅力を発信、更に高校の後援会、地域の幅広い方々や企業等「オールかほく」で支援していく。

河北町役場への就職枠

問 成績上位者またはカヌー競技の優秀者に役場への就職枠を設定することは可能か。

町長 公平公正の観点から就職枠を設定することは難しい。しかし、多くの優秀な人材から受験していただけるよう、学校側の意見も考慮しイン

ターニシップなどの実施検討を行う。

自治体DXの取組みは

問 DXを推進する上でマイナンバーカードの普及は欠かせないと考えるが、課題と対策はどう捉えているか。

町長 受取期間を過ぎても取りに来られない方が多数いることと介護施設に入居している方で住所を異動していない方の未申請が多数いることが課題であり、課題に対するサポート事業を充実させていく。



谷地高に「オールかほく」で支援

谷地どんがまつりの 存続について

検討が必要と
考えている



安孫子 真弥 議員

資金や人手が不足し、
存続が危ない

問 谷地どんが祭りは江戸時代から続く伝統文化であり、河北町を代表するお祭りである。しかし、物価・光熱費の高騰や人手不足によって、その存続が危ぶまれている。今の時代に合った方法を協議する場を設けられないか。

町長 町も事務局となっていることから、実行委員会において検討が必要と考えている。

問 中部地区が出す囃子屋台は、前回から半減した。由々しき事態だと思いが、町としてはどの様に受け止めたのか。

町長 4台とお聞きし、驚き、残念に思う。人手不足が大きな要因だが、三年間、コロナ禍で期間が空き、祭りに対する意識の低下もあると考えている。

問 3地区の祭り青年協議会や実行委員会にて今後を協議していきたいと考えている。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

河北橋改良の老朽化対策は 県に対し 早期着手を強く要望する



増川 憲一 議員

朝のピーク時
1000台

問 交通量の推移を把握しているか。

町長 山形県で主催している東根市・河北町間道路ネットワーク勉強会で調査しており、朝のピーク時には1時間あたり1000台程度の通行量がある。

問 東根北インターチェンジから河北橋利用台数も増加傾向をたどると思う。

町長 山形県橋梁長寿命化修繕計画のもと定期点検が行われている。点検結果は、2番目に低いⅢbの早期措置段階と診断されている。

問 河北橋の計画的な老朽化対策は、住民の安全な通行、安心して生活出来る環境を確保するため、早期に河北橋改良を行う必要がある。

町長 町の考えは、町長 河北橋は1966年完成で57年経過している。山形県道路中期計画の中間見直しを見据え、西村山地方開発重要事業要望に河北橋改良を新たに盛り込んだ。

町長 山形県に対し河北橋改良の早期着手を強く要望する。

問 関係人口の実態把握について

町長 関係人口と捉えているのは、ふるさと納税者4万4396人、いきいき関東河北会員146人、かほくらしファンコミュニティ1万1117人で、令和4年の総数は6万559人だ。

関係人口 創出・拡大の取り組み

強い関係の構築と
新たなファンの創出



細矢 誓子 議員

問 地域づくりの活動人口拡大の施策は。

町長 本町では定住人口の増加を目的として移住促進のための施策を行っているが定住につなげるハードルは様々だ。

問 期待されるのが地域に根差して活動してくれる活動人口だ。

町長 人口減少により地域づくりの担い手不足が課題になっている中でその担い手にもつなげていく。

問 本町に興味を持って来町されて実際に住んでいた方への創出につなげていく事が重要だ。

納税返礼品企画やPRなどを発信

問 観光などで訪れたことでの地域のファンになっていく交流人口を関係人口に結び付

ントは、天候不順によって客足が遠のいた場合、大幅な赤字となる可能性がある。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。



4年ぶりに復活した囃子屋台の競演

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

町長 既存の支援制度をベースとしつつ、町としてどのような支援ができるのか、既存の支援制度の検証も含め今後研究していく。

早期な老朽化対策が望まれる河北橋



強い関係構築と
新たなファンの創出

問 アンテナショップ「かほくらし」での活動の内容は。

町長 関係人口創出に向けたイベントやツーリズム、モニターツアーなどを実施して、ファンコミュニティの

ファンコミュニティの



河北町を訪れたイナゴ会のみなさん

町長 体験型のツーリズムなどを通して関心を継続し、ふるさと納税返礼品の企画やPRなども発信していく。

町長 関係人口の拡大施策予算の考え方は。

町長 「移住定住推進事業」及び「ふるさとづくり寄付事業」を推進し、ふるさと納税者の更なる増加と、移住定住のためのイベントを実施して、直接的な移住者の増加を図る。

町長 関係人口の拡大施策予算の考え方は。

町長 関係人口の拡大施策予算の考え方は。

町長 関係人口の拡大施策予算の考え方は。

唯一無二のサウナを

関係機関と協議



佐藤 修二 議員

サウナが起爆剤に

問 ひなの湯はコロナ禍が収束しつつあるなか入館者数はまだまだ回復していない。唯一無二のこだわったサウナが起爆剤となると考えるが。

町長 これまで10時から利用だったサウナを昨年朝6時から利用できるようにし、好評を得ている。

現在の施設においてこういったことが可能か指定管理者であるべに花の里振興公社と今後、検討していく。

年齢制限見直しを

問 結婚新生活支援事業は、夫婦共に29歳以下は60万円が補助限度額で、共に39歳は30万円だ。

この制度は家賃、敷金、礼金、共益金や仲介手数料、引越し、リフォームにも使える。

町で委託している婚活支援でまとまった方はほとんど該当していない。制限をとりはすか、枠を拡大すべきと思うが。

町長 国の地域少子化対策重点推進交付金で結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援や結婚の機運の醸成や婚姻に伴う経済的支援だ。

人口増の対策を

企業誘致活動を継続



石垣 光洋 議員

問 若者が働く場所の確保と就労環境の整備について

町長 谷地工業団地は全区画分譲完了し、花ノ木工業団地は分譲率88パーセント。

IT情報業の誘致に成功した事例がある。人口の確保を図るうえで重要な課題。

問 マイナンバー保険

証に置き換えるとなれば、滞納者は全額負担となるが、その場合の受診機会の保障についての対応は。

税務町民課長 資格証明書の交付に代えて、窓口で全額負担となり、償還払いを行う特別療養費の支給に変更する旨の事前通知を行う。

受診の機会が減るとか保険の適用が受けられないなどの恐れはない。

問 空き家の利活用について

町長 空き家については、河北町においても300件を超えるほどの空き家が存在している。

河北町空き家バンク制度は、空き家の利用を希望される方に、町が「空き家バンク」の情報を紹介する制度だ。不動産業者を通して売買も多くあり、空き

境界知能の

児童生徒への対応を

相談体制を整え

支援に努める



安達 智勇 議員

問 町では、小中学校内での境界知能の児童生徒数は把握しているのか。

町長 文部科学省などから実数把握調査の指示は出ていない。

教育長 NRTテストなどで児童生徒の知力学力の把握はしている。

問 小中学校では境界知能の児童生徒に対し、具体的な取り組みを実施しているか。

町長 ①ユニバーサルデザインを意識した環境を整える。

②学習・生活指導補助員を配置する。

③各関係機関との連携を取りながら相談者に寄り添える体制を作る。など、相談体制の充実を図り、支援に努める。

本町の教育格差

問 本町における教育格差の状況をどう捉えているのか。

町長 子どもたちの学力を伸ばすため、各学校で教育活動の工夫に努めている。

また町では、経済的な理由で困難を抱えている家庭に対し奨学金制度等の援助制度を設けて対応している。

地域未来塾の実施を

問 町として文科省の施策である原則無料の学習支援事業「地域未来塾」を実施する考えはないか。

町長 過去に似た内容の「土曜教室」を開講

したが参加者が少なく、また指導者の確保ができず2年で終了した。指導者の確保の問題やニーズなどの課題を整理していく必要がある。



新たな起爆剤が求められるひなの湯



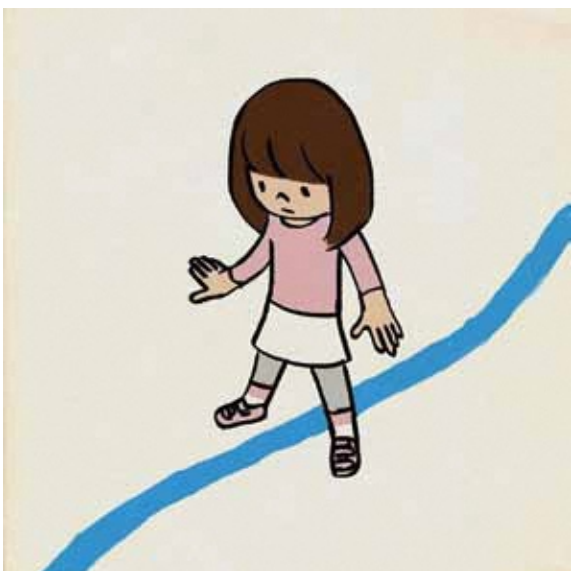
子どもの未来は町の未来

家利活用の支援制度のあり方について検証しながら、空き家の利活用をより一層図っていく。

状況と求められる機能やニーズを把握していく。

施設の複合化や集合化、統廃合も念頭に置きながら、中長期的な視点を持って施設の長寿命化や改修に努める。

町長 公共施設全体の管理運用や施設の統廃合について



伝統文化及び文化財の継承は次世代に残すため現状把握へ



鈴木 英友 議員

問 伝統文化継承活動への支援策について

町長 地域の伝統文化や民俗芸能の継承を継続的に行う団体に対し費用を助成している。

問 町民意識の底上げをどうするか。

町長 町に残る伝統芸能や職人の技などの映像をインターネット上で閲覧できるように仕

問 個人所有の文化財を消失させない方策は。

町長 所有者の負担軽減を図るため、費用を補助する制度もあり、維持管理を継続していただけるような手立てをとっていく。

問 文化財の現状把握はいつどの程度まで。

町長 5年4月現在、町指定75件、県指定11件、国指定1件、計87件。平成16年に写真撮影とともに所在や状態について確認した。

問 平成16年、町制施行50周年に刊行された「町の文化財」の改訂計画は。

町長 現在のところ具体的な計画はない。

問 どうする旧安部権内家受納の要望・請願の採択を受けてどうする。

町長 「旧安部家住宅と屋敷」は大変貴重な



吉田 芳美 議員

衛生指導員の働き方改革必要だ 負荷低減を図る 活動実態の調査へ

問 ごみステーション管理者の皆様は改めて感謝を申し上げたい。令和4年度実績では、プラごみ1565個が指摘を受け取り残されている。

指導員は「赤ラベル」ごみ袋の返却などに向け苦労している。ごみの収集は年177回あり二日に一回の割合だ。出勤が多く報酬は安い。

世帯数が加味されず一律同額支給のため、地域の実態把握に努め衛生指導員の「働き方

改革」を強く求める。

町長 ごみステーションの設置箇所数や世帯数など地域実情に応じた報酬額になっていないなど苦労していることは承知している。衛生指導員業務の活動実態調査を10月実施する。

問 最少と最大の町内会世帯数を伺う。

まちづくり推進課長 最少5戸、最大230戸だ。

ブル跡地の住宅開発

問 事業計画の中身が乏しく、町の意思決定も遅い、施策もぐらついている、スピード感もない。事業全体の計画を早期に示すべきだ。

高規格救急自動車を取得

西村山広域行政事務組合議会

7月7日第2回臨時会

① 監査員の選任について

監査員に朝日町選出議員青木裕子氏を選任するもの。

② 財産（高規格救急自動車）の取得について

4月26日、2社による入札を行った結果、山形日産自動車株式会社、落札し3652万円で契約するもの。以上、原案の通り可決されました。



河北分署で消火活動訓練

令和4年度決算を認定

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

7月10日第2回定例会

① 令和4年度組合会計歳入歳出決算認定について

③ ごみ焼却施設DCS更新工事請負契約の締結について

収入済額は21億8338万円、支出済額は20億9403万円で、歳入歳出差引残額8935万円は翌年度に繰り越すもの。

随意契約により、株式会社タクマ東京支社支社長丸田元太が落札し2億4750万円で契約するもの。

工期は令和8年3月23日まで。

④ 監査員の選任について

令和5年4月30日から欠員となっていることから、新たに当町の吉田芳美氏を監査委員に選任するもの。

以上、提案されました4議案につきまして、はいずれも原案のとおり承認、認定、可決及び同意されました。

問 河北町の道の駅と再度確認



どう活かす旧安部権内家

文化財と認識している。今後の維持管理、利活用については保存会と一緒に考えていく。

しての特徴づけは。

町長 町のランドマーク施設として、周辺環境も考慮し協議検討していく。



指摘が最も多いのはプラスチック包装容器類

町長 公募型プロポーザルを実施して今年度中に示す。

定住促進住宅の集会場にエアコンを

問 集会場にエアコン設置で高齢者居場所づくりの拠点にしては。

町長 エアコン設置を検討する。

問 若者入居に向けたアピールポイントは。

町長 間取りを3LDKから2LDKに変え和室を洋室に改修、3D画像でPRを行い令和6年度から入居相談を受け付ける。

審議結果 議員の賛否一覧

〈9月定例会〉 議第47号は、令和5年8月7日臨時会

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14
			議決結果	安達智勇	漆山光春	安孫子真弥	東海林信弘	石垣光洋	増川恵一	木村章一	佐藤修二	鈴木英友	林智智	奥山英幸	吉田芳美	細矢誓子
47	令和5年度河北町一般会計第4回補正予算 歳入歳出それぞれ1億7500万円を追加、歳入歳出の総額は107億2606万円 「かほくほくほく応援券」の発行、最上川カヌー練習場の整備など	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和4年度河北町一般会計歳入歳出決算認定 歳入総額112億9197万円、歳出総額109億7054万円、差引額3億2142万円 財政調整基金へ積立、差引額7527万円を令和5年度に繰り越す	認定		○	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
49	令和4年度河北町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額19億9787万円、歳出総額19億5694万円、差引額4092万円 国民健康保険基金に2500万円を積立、1592万円を令和5年度に繰り越す	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和4年度河北町西里財産区特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額64万円、歳出総額45万円、差引額19万円を令和5年度に繰り越す 根際山沿革碑の説明版の設置、山検分などを実施	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	令和4年度河北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2866万円、歳出総額2866万円 世帯数120戸のうち113戸が供用。事業は維持管理業務が主なもの	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和4年度河北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額9億549万円、歳出総額9億549万円 令和4年度末の認可区域面積に対する整備率は82.8%	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和4年度河北町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額24億5508万円、歳出総額23億3396万円、差引額1億2111万円 介護給付費準備基金に積立、差引額9103万円を令和5年度へ繰り越す	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和4年度河北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2億5460万円、歳出総額2億5020万円、差引額439万円を令和5年度へ繰り越す 1人当たりの医療給付額が、前年度より0.7%の増加となった	認定		○	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
55	令和4年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定 剰余金総額7895万円のうち、1157万円を減債積立金に、1100万円を建設改良積立金に積立、5638万円を資本金に組み入れる	認定		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和5年度河北町一般会計第5回補正予算 歳入歳出それぞれ7314万円を追加、歳入歳出予算総額は107億9920万円 地元回帰促進住宅開発事業、児童動物園改修工事など	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和5年度河北町公共下水道事業特別会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ501万円を追加、歳入歳出予算総額は9億3175万円 歳出では、マンホールポンプの修繕、長期借入債利子の減額など	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	令和5年度河北町介護保険特別会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ9103万円を追加、歳入歳出予算総額は25億4039万円 歳出は、負担金や交付金の返還金を増額、歳入は、繰越金の補正	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	令和5年度河北町水道事業会計第2回補正予算 収益的収入の予定額を278万円追加、水道事業収益は5億2617万円 収益的支出の予定額を270万円追加、水道事業費用を5億1233万円	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	河北町定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定 定住促進住宅の空き部屋を有効活用するため、一般の入居者に加え、町内事業者の社宅としても使用可能とするため、条例の一部を改正	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	河北町道路路線の認定 道路法の規定により、町道下槇第3号線及び町道下野真木線の認定が必要なため	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	人権擁護委員の候補者の推薦 任期満了に伴い、井上和幸氏の人権擁護委員の再任を提案	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	人権擁護委員の候補者の推薦 任期満了に伴い、菊地ひろみ氏の人権擁護委員の再任を提案	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	人権擁護委員の候補者の推薦 佐藤美由紀氏を人権擁護委員に提案	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	河北町教育委員会委員の任命 庄司泰寛氏を教育委員会委員に提案	同意														

賛成…○ 反対または棄権…● 欠席…欠
(議長は採決には加わりません)

高校生議会を開催します

県立谷地高等学校が取り組んでいる「地域探求の時間」の推進を、選挙権年齢が18歳以上になったことに伴う主権者教育の一環として、また、まちづくりや議会への関心を高めてもらうことを目的に、高校生議会を開催します。

日時 11月24日(金)
午後2時30分～

場所 河北町役場4階
河北町議会 議場

当日は傍聴ができます。
また、インターネットによる
ライブ中継も行いますので、
ぜひご覧ください。



令和4年の高校生議会



谷地高生が税務町民課長にインタビュー



企画財政課長にインタビュー

第12回 議会報告会 議員と語る会

議会報告会は、平成23年度から実施し、コロナ禍により開催できない年もありましたが、令和5年度で12回目となります。
河北町議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を目指し、参加者のご協力のもと開催してきました。
令和5年度は、団体等と各テーマにより意見をとり交わし「河北町議会懇談会」とし、議員全員参加で開催いたします。



第11回議会報告会 議員と語る会

①空き家の利活用等について
日時：11月9日 10時から
団体名：山形県宅建協会寒河江

②産業振興について
日時：11月9日 14時から
団体名：河北町商工会総務委員会